



今年の初め頃は、今年は運動会ができるだろうか？と予測すらできない状況にありましたが、無事運動会が実施できたことに安堵しています。それも地域・家庭ぐるみで感染予防に努めていただいたおかげと感謝申し上げます。

今回の運動会の取り組みは、感染対策に加え熱中症予防のダブルパンチでした。練習や準備にかなり制限があった活動でしたが、応援団の声も日に日に大きくなり、本気度が増してくるのが分かりました。競技練習も例年より少ない回数でしたが、そこは集中して取り組むことでカバーしてきました。

今年は小学校最後の大会や行事が中止や変更となってしまった6年生でしたが、その悔しさをパワーに替えて、最高学年として力を大いに発揮してくれました。4年生以上が一人一役で準備を行った放課後や朝の活動でも、リーダーとしていきいきと働く姿が見られました。全校生分のうちわやポンポンの製作、真っ白な紙に日を追う毎にかっこいいキャラクター（何度名前を聞いても覚えられなかった・・・）が仕上がっていく様子、そして暑いグラウンドや体育館でTシャツを汗だくにしながらの応援練習・・・。先生方の叱咤激励を受けながら、最後まで諦めず、声をからすまでがんばりました。

「100キロの荷物を持ったことがある人は30キロの荷物は平気であり、楽である。

10キロの荷物しか持ったことのない人には、30キロの荷物を持つことは耐えきれない苦しみであろう」  
(平気で耐える：酒井 馨)

6年生にとって小学校生活はあと半年。  
これからもたくさんの方の力をつけていってほしいと思います。



運動会当日は、ここ最近ではこれ以上ない天候に恵まれました。  
このめんこい“てるてる坊主”のおかげかな？